

第17課 ここでしゃしんをとらないでください

1. Nikalna nepretekla neformalna oblika glagolov V ない
2. Kako nekomu vljudno ukažemo, naj nečesa ne počenja?
3. Kako povemo, da je treba / da moramo nekaj narediti?
4. Kako povemo, da nečesa ni treba narediti?
5. Kako povemo, da je treba nekaj narediti do določenega roka?

インターネット^{てんわ}電話 Internetni telefon

電話^{てんわ}では、^{たか}高い お金を はらわなければ いけま
せんが、インターネット^{てんわ}電話は ^{やす}安くて、いいです



新しい言葉 Nove besede

Glagoli

忘れます	わ「すれま」す	わ「すれな」い	わ「すれて	V1	pozabiti
気をつけます	き「をつけま」す	き「をつけ」ない	き「をつけ」て	V1	paziti
			車に 気をつけます paziti na avte		
止めます	と「めま」す	と「めな」い	と「めて	V1	ustaviti, parkirati
			ここに 車を とめます parkirati tukaj		
入れます	い「れま」す	い「れな」い	い「れて	V1	dati noter
		ポケットに パスポートを 入れます dati potni list v žep			
出します	だ「しま」す	だ「さな」い	だ「して	V5	vzeti ven, dati ven
		ポケットから パスポートを 出します vzeti potni list iz žepa			
	な「くしま」す	な「くさな」い	な「くして	V5	izgubiti
返します	か「えしま」す	か「えさ」ない	か「えして	V5	vrniti
払います	は「らいま」す	は「らわ」ない	は「ら」って	V5	plačati
脱ぎます	ぬ「ぎま」す	ぬ「が」ない	ぬ「いで	V5	sleči, sezuti
触ります	さ「わりま」す	さ「わら」ない	さ「わって	V5	tikati, dotakniti se
			絵（え）に 触ります dotakniti se slike		
心配します	し「んばいしま」す	し「んばいしな」い	し「んばいして	Vs	biti v skrbeh
怪我をします	け「が」をします	け「が」をし「な」い	け「が」をして	Vs	raniti se, poškodovati se
残業します	ざ「んぎょうしま」す	ざ「んぎょうしな」い	ざ「んぎょうして	Vs	delati nadure
静かにします	し「ずかに」します	し「ずかにし「な」い	し「ずかにして	Vs	biti tiho
掃除します	そ「うじしま」す	そ「うじしな」い	そ「うじして	Vs	čistiti
洗濯します	せ「んたくしま」す	せ「んたくしな」い	せ「んたくして	Vs	prati perilo

Samostalniki

音	お「と」	N	glas, zvok
許可	きょ「か	N	dovoljenje
スイッチ	ス「イ」ッチ	N	stikalo
エアコン	エ「アコン	N	klimatizacija
ヒーター	ヒ「ーター	N	grelec
鼻水	は「なみず	N	nosna sluz
	はなみずが でます teči iz nosa		
くしゃみ	く「しゃ」み	N	kih
	くしゃみが でます kihati		
郵便	ゆう「びん	N	pošta
航空便	こう「うくうびん	N	letalska pošta
船便	ふ「なびん	N	navadna pošta
学生証	が「くせいしょう	N	študentska izkaznica

Prislov

一生懸命	いっ「しょうけんめい	na vso moč
------	------------	------------

Pridevniki

大切	たい「いせつ	Ana	dragocen, važen
心配	し「んばい	Ana	zaskrbljen; zaskrbljujoč
残念	ざ「んね」ん	Ana	za kar je (komu) škoda
危ない	あ「ぶな」い	Ai	nevaren
すごい	す「ご」い	Ai	izreden, strašen
眠い	ね「む」い	Ai	zaspan

Fraze

何度か な「んどか	nekajkrat
ま「でに	do (določenega roka)
だ「め」です。	Prepovedano je. Ne sme se.
残念です。 ざ「んね」んです。	Škoda!
体に 気をつけて ください。Pazite na zdravje! か「らだにきをつけ」てください。	

ことば れんしゅう
言葉の練習 Vaja za utrjevanje besedišča

A. どうしましたか。 Pripišite izraze k odgovarjajočim slikam!

ねつが ~~あります~~ つかれて います おなかが いたいです はなみずが 出ます
あしに けがを しました ねむい です あたまが いたいです くしゃみが 出ます



例) (ねつが あります) 1) () 2) () 3) ()



4) () 5) () 6) () 7) ()

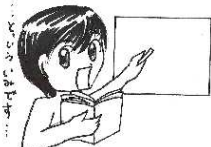
B. 何を して いますか。



例) (気を つけています) 1) () 2) () 3) ()



4) () 5) () 6) () 7) ()



8) () 9) () 10) () 11) ()

あたらしいぶんけい
新しい文型 Novi stavčni vzorci

1. Nikalna nepretekla neformalna oblika glagolov V ない

Oblika na -ない se tvori različno glede na tip glagola: V1, V5 ali Vs.

Pri enostopenjskih glagolih V1, pri katerih se glagolski koren ne spreminja (»ima samo 1 stopnjo (obliko)«, od tod ime), se namesto obrazila -ます doda obrazilo -ない.

Pri petstopenjskih glagolih V5 se zadnji samoglasnik -i- pred obrazilom -ます spremeni v -a-, temu pa namesto obrazila -ます sledi obrazilo -ない. Pri glagolih, kjer je zadnji zlog pred obrazilom -ます samo samoglasnik -i-, se namesto samega samoglasnika -a- uporablja zlog わ.

Pri glagolih Vs se glagol します spremeni v しない. Nepravilni glagol きます postane こない.

V1: Vます→Vない	V5: i ます→a ない	Vs: します→しない	きます→こない
-------------	---------------	-------------	---------

	か きます → か かない	勉強します
たべます→たべない	およ ぎます→ およ がない	→勉強しない
みます →みない	か します → か さない	さんぽします
	た ちます → た たない	→さんぽしない
	よ びます → よ ばない	
	の みます → の まない	
	と ります → と らない	
	あ います → あ わない	

Petstopenjski glagoli se tako imenujejo, ker se samoglasnik v zadnjem zlogu pred obrazilom spreminja (pomika po vseh petih »stopnjah« v tabeli hiragane) glede na obrazilo, ki sledi. Doslej smo tako spoznali obliko z -i-, ki se uporablja npr. pred obrazilom -ます, in obliko z -a-, ki se uporablja npr. pred obliko -ない.

練習1 ひょう 表に 書いて ください。

	ます形	ない形		ます形	ない形
V5		行かない	V1	食べます	
	買います				ねない
	書きます			おきます	
	まちます			見ます	
		休まない			いない
	よびます				
	のみます		***	きます	
	とります				
		さがさない	Vs		しない
	はなします			勉強します	

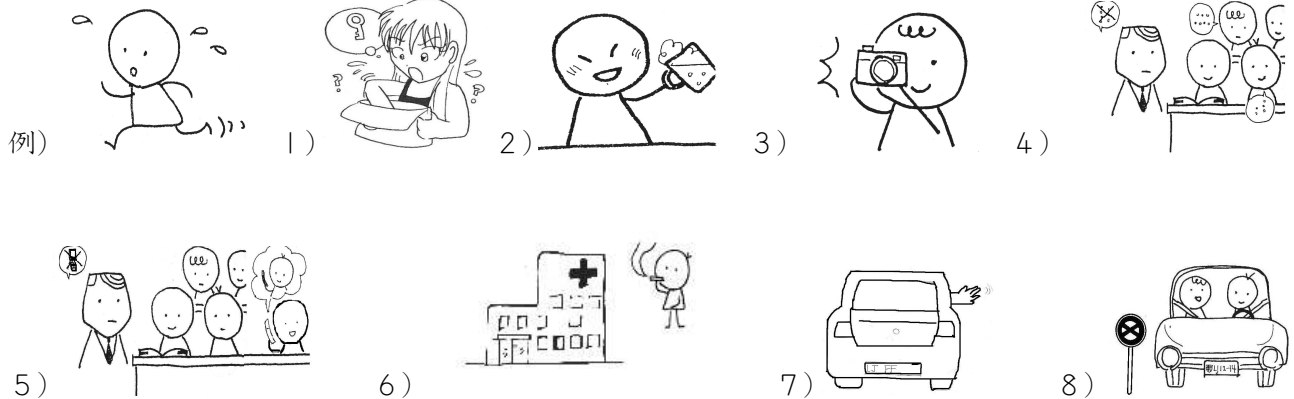
2. Vljudna prepoved – Kako nekomu vljudno ukažemo, naj nečesa ne počenja?

V ないで ください。

- a) たばこを すわないで ください。 *Ne kadite, prosim!*
 b) ここに くるまを とめないで ください。 *Ne parkirajte tukaj, prosim!*

Podobno, kot se izrazi prošnja z V てください, se vljudna prepoved izrazi z obliko V ないでください。

練習 2 – 1 「～ないで ください」を ^{つか}使って ^{ぶん}文を ^{つく}作って ください。



例) はしら ないで ください。

- 1) かぎ を _____。
 2) _____ を _____。
 3) _____ を _____。
 4) _____ で _____。
 5) _____ で _____ を _____。
 6) _____ で _____ を _____。
 7) _____ から _____ を _____。
 8) _____ に _____ を _____。

L17 ここでしゃしんをとらないでください

練習 2-2 文を 作って ください。

例) さむいですから、

1) かぜですから、

2) あぶいから、

3) だいじょうぶですから、

4) これは としょかんの

本ですから、

5) この トイレは こわれて

います[pokvarjeno] から、

例) まどを あけないで ください。

・ 今日はいしゃへ 行かないで ください。

・ どうろ [cesta] で あそばないで ください。

・ しんぱいしないで ください。

・ なくさないで ください[なくしますizgubiti]

・ かわないで ください。

練習 2-3 はな 話して ください。

(今日は テストです。)

石川 : では、テストを はじめましょう。

ホチェバル: 先生、 すみません。

じしよを つかっても いいですか。

石川 : いいえ、つかわないで ください。

ホチェバル: 分かりました。



例) じしよを つかいます

1) あかい ペンを つかいます

2) ノートを 見ます

3) となりの 人に かんじの よみかたを ききます

4) ??

3. Nujnost – Kako povemo, da je treba / da moramo nekaj narediti?

Vなければ なりません / いけません

a) あした テストですから、べんきょうしなければ なりません。

Moram študirati, ker je jutri test.

b) まいにち 大学へ 行かなければ なりません。

Vsak dan moram / je treba hoditi na univerzo.

c) せんしゅう、まいにち くすりを のまなければ ありませんでした。

Prejšnji teden sem moral vsak dan jemati zdravila.

Z izrazoma Vなければ なりません in Vなければ いけません izražamo nujnost dejanja, t.j. dejstvo, da je treba ali da moramo nekaj narediti.

練習 3-1 二つの 文を 一つに して ください。

例) 【ねつが あります／くすりを のみます】

ねつが ありますから、くすりを のまなければ なりません。



1) 【しごとが たくさん あります／ざんぎょうします】

_____。

2) 【あぶないです／きを つけます】

_____。

3) 【やくそくが あります／でかけます】

_____。

4) 【こどもが ねています／しずかに します】

_____。

5) 【さむいです／コートを もって 行きます】

_____。

6) 【日本へ 行きたいです／いっしょうけんめい 日本語を べんぎょうします】

_____。

練習 3-2 話して ください。

シュテフィ：あやさん、お茶を 飲みに 行きませんか。

あや：すみません、シュテフィさん。

① 今から じゅぎょうですから、② 大学へ 行かなければなりません。

シュテフィ：そうですか。じゃ、また こんど 行きましょう。

例) ① 今から じゅぎょうです

② 大学へ 行きます

1) ① 先生と やくそくが あります

② 先生の けんきゅうしつへ 行きます

2) ① らいしゅう テストが あります

② べんぎょうします

3) ① おおや [lastnik] が きます

② いえに います

4) ① しゅくだいが たくさん あります

② 今 (しゅくだいを) します

5) ① ??

② ??

練習5 話して ください。

例) 【レポート／出します／金曜日】

A : いつまでに レポートを 出さなければ なりませんか。

B : 金曜日までに 出して ください。

1) 【この 本／かえします／こんしゅうの 土曜日】

A :

B :

2) 【しゅくだい／します／木曜日】

A :

B :

3) 【ホテル／出ます／ごぜん 11時】

A :

B :

4) 【お金／はらいます／今月の25日】

A :

B :

5) 【家／かえります／よる 10時】

A :

B :

Aya in Milan na obisku pri Janu govorita o prijatelju Marku Mlakarju, ki je šel za eno leto študirat na Japonsko.

ヤン : あやさん、マルコ・ムラカルさんを ^し知って いますか。

あや : ええ。 ^{いま}今、 ^{おおさか}大阪に ^{りゅうがく}留学して いますよね？ [よね = kajne?]

ミラン : そうだ、 ^{でんわ}電話を かけましょうか。

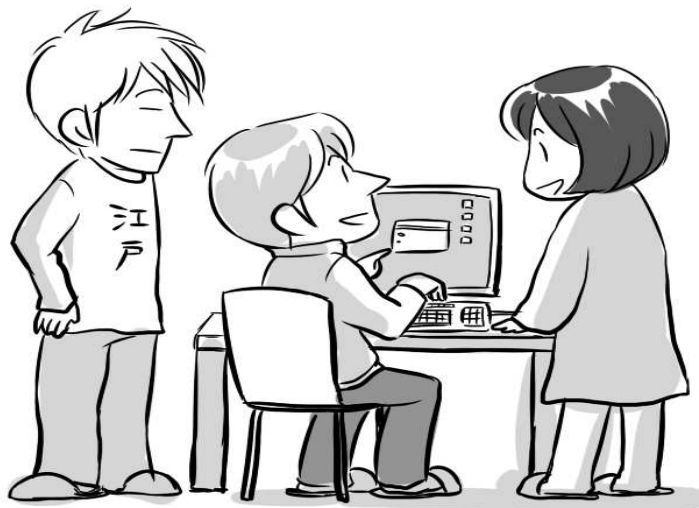
あや : ^{でんわ}電話は ^{たか}高くないですか。

ヤン : インターネット ^{でんわ}電話ですよ。ふつうの ^{でんわ}電話では なくて、
インターネットを ^{つか}使って コンピュータで ^{でんわ}電話を かけます。

あや : ああ、 ^し知って います。

ミラン : ええ。 ^{でんわ}電話では、 ^{たか}高い ^{かね}お金を はらわなければ いけませんが、
インターネット ^{でんわ}電話は ^{やす}安くて、いいですね。 ^{わたし}私も ^{つか}使って
います。 ^{にほん}日本へ ^{でんわ}電話を かけても、 ^{でんわだい}電話代を ^き気にしないで
いいです。

あや : そうですね。じゃ、マルコさんに ^{でんわ}電話しましょうか。



はってん

発展 Poskusimo!

1. びょういんで V ambulanti

いしゃ : どう しましたか。

かんじゃ : きのうちから、のどが いたくて、ねつが あります。

いしゃ : そうですか。ちょっと 口を あけて ください。

…かぜですね。ゆっくり 休んで ください。

かんじゃ : あのう、今日の よる、パーティーが あります が…

いしゃ : パーティー ? ! だめですよ ! !

かんじゃ : そうですか…。じゃ、いえで おさけを のんで も いいですか。

いしゃ : いいえ、のま ないで ください。

かんじゃ : はい、分かりました。先生、あのう…

いしゃ : 何ですか。

かんじゃ : 明日 しけんが あります が、大学を 休んで も いいですか。

いしゃ : …いいえ、休まないで ください。

くすりを のんで、今日は はやく ねて ください。

かんじゃ : はい。

いしゃ : じゃ、おだいじに。

かんじゃ : どうも ありがとう ございました。



〈ことば〉

いしゃ

zdravnik

かんじゃ

pacient

あたまが いたいです

boleti glava

おなかが いたいです

boleti trebuh

はが いたいです

boleti zob

ねつが あります

imeti vročino

せきが えます

kašljati

くしゃみが えます

kihati

はなみずが えます

teči iz nosu

はきけが します

iti komu na bruhanje

さむけが します

mraziti koga

めまいが します

vrteti se v glavi

しょくよくが ありません

ne imeti apetita

かたが こります

imeti bolečine v ramah / vratu

からだが だるいです

počutiti se izčrpano

かぜ

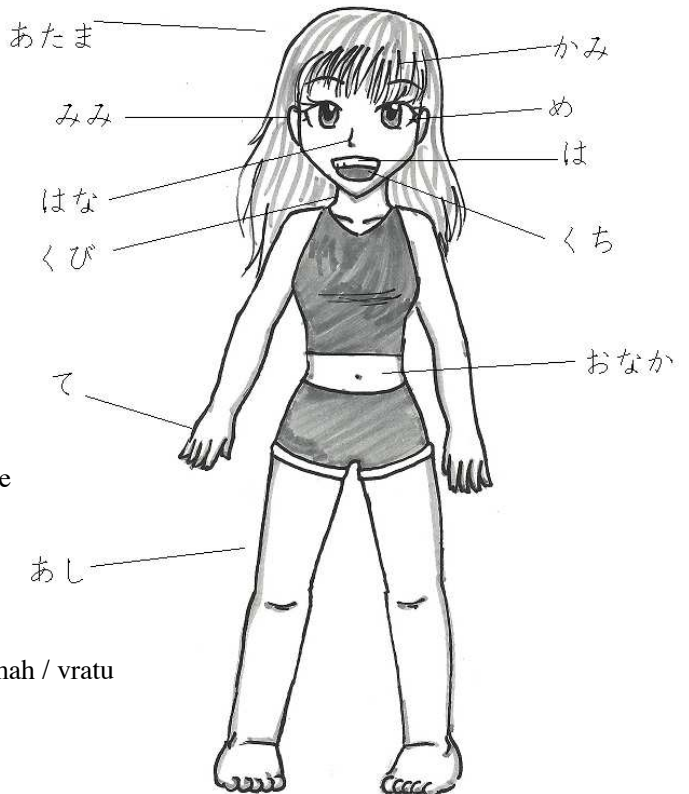
prehlad

インフルエンザ

gripa

ふつかよい

maček (po pretiranem pitju)



L 17 ここでしゃしんをとらないでください

2. 日本の ことを して いますか。

A. となりの 人に きいて ください。 Vprašajte soseda, ali držijo spodnje trditve.

会話の 例

A: 日本では、日曜日も はたらかなければ なりませんか。

B: はい、 はたらかなければ なりません。

ali いいえ、 はたらかなくても いいです。

例) 日曜日も はたらきます。 (○/×)

1) 6さいから 15さいまで 学校へ 行きます。 (○/×)

2) レストランで チップを はらいます。 (○/×) (チップ=napitnina)

3) いえの 中で くつを ぬぎます。 (○/×)

4) 車は どうろの 右を はしります。 (○/×)

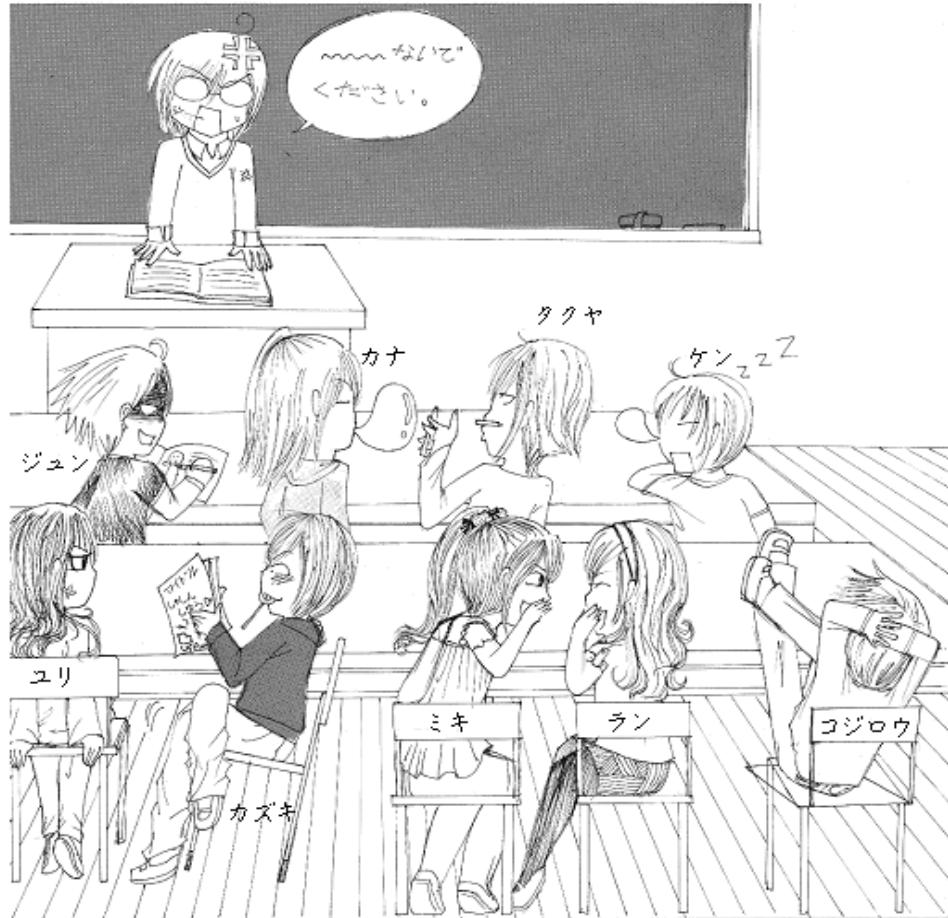
5) いつも はしで ごはんを たべます。 (○/×)

6) なまえを かんじて かきます。 (○/×)

B. スロヴェニアでは どうですか。書いて ください。

例) スロヴェニアでは、日曜日は はたらかなくても いいです。

3. 先生は 何と 言いますか。書いて ください。



下の ことばを つかって ください。

ねます	えんぴつで あそびます	ガムを かみます (žvečiti žvečilni)
はなします	うしろを みます	ざっしを よみます
わらいます	えを かきます	あめを なめます (lizati liziko)
	あしを つくえの 上に のせます (položiti noge na mizo)	

ふくしゅう

復習 Ponovimo!

1. ^{した}下から ^{ことば}言葉を ^{えら}選んで ^{ただ}正しい ^{かたち}形に ^しなさい。

~~あそびます~~ のみます はたらきます ねます しんぱいします

例) あぶないですから、どうろで (**あそば**) ないで ください。

- 1) 私は 元気ですから、() ないで ください。
- 2) 明日は 土曜日ですから、() なくても いいです。
- 3) かぜを ひきましたから、くすりを () で、はやく () なければ なりません。

2. 会話を ^{かん}せいで ^{くだ}さい。

例) A : ここに すわっても いいですか。

B : いいえ、すわらないで ください。

1) A : でんきを けしましょうか。

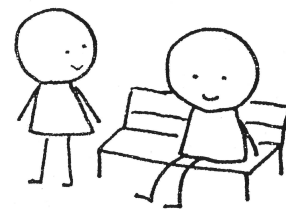
B : いいえ、_____。本を よんで いますから。

2) A : 今日 レポートを かかなければ なりませんか。

B : いいえ、_____。

3) A : いっしょに しょくじに 行きませんか。

B : すみません、これから_____なければ なりませんから。



3. 正しい ^{もの}ものを ^{えら}んで ^{くだ}さい。

例) 5時 { まで・**までに** } 来て ください。

A : らいしゅうの 月曜日 { まで・までに } この 本を かりても いいですか。

B : いいえ、金曜日 { まで・までに } かえして ください。

私は、テスト { まで・までに } その 本を よまなければ なりませんから。

4. ^{こた}答えて ^{くだ}さい。

1) まいあさ、 はやく おきなれば なりませんか。

2) 明日、 大学へ 来なければ なりませんか。

3) 土曜日と 日曜日は 休みですから、 勉強しなくても いいですか。